

絆

赤井むつみ後援会便り第 66 号

笑顔あふれる温かい町に！

2024 年 1 2 月 発行



今年も大変お世話になり、 ありがとうございました！

2024 年も残りわずかとなってしまいました。1 月 1 日能登半島で大地震が起こり、多くの建物が倒壊、朝市も焼けてしまい、たくさんの方が死傷されました。その後も能登半島には豪雨や地震等の災害が重なり、復旧復興にはまだまだ時間がかかりそうです。1 日も早く安心安全な日常生活を取り戻せるよう心からお祈りしています。

地球温暖化（沸騰化？）により、線状降水帯が発生し、各地に豪雨被害が発生。八雲町では海水温上昇により、鮭はもちろん、イカもタコもエビも獲れなくなってしまい、ホタテの稚貝の生育にも大きな影響が出ています。漁業関係の皆様にとっては死活問題です。

農業においても飼料や肥料の高騰により、苦しい状況にあります。もちろん、私達も物価高騰により、節約節約の日々を過ごしています。私達一般町民は、物の値段を見比べて買い物をしている影で、政治家の裏金問題の報道を見ると、こんな人たちに国を任せていては国民が幸せになれるわけがない！と思ってしまいます。その思いは私だけではなく、多くの方たちも同じ思いだったことが衆議院議員選挙の結果に表れましたね。でも、そこで安心せず、その結果がこれからどのような方向に向かうのか、目をそらさずに注目していきましょう！



今年の文団連特別事業は、劇団『花かご』を東京からお招きし、落部、八雲、熊石 3 会場で人形劇と歌声コンサートを開催し、運営にかかわりました。-どの会場もとても盛り上がり、本当に楽しい時間を過ごすことができました。熊石会場では 93 歳の女性から「私の元気なうちにもう一度来てね！」と声をかけられ、劇団の方たちも大喜びでした！



10 月 15～16 日、福島県いわき市と宮城県亘理町に議会で研修に行き、東北大震災後の災害対策を学ぶことができました。亘理町も八雲町と同じ災害の少ない町だったそうです。災害は必ず来ると思っていた方が良いと言われ、日頃の準備の大切さを痛感しました。各家庭で最低 3 日の食糧と水の確保、簡易トイレ、毛布等、ヘッドライト（両手が使えるように）、歯ブラシ、ウェットティッシュ、ティッシュ、お薬手帳と薬等々。食事は 1 日我慢できてもトイレは 3 時間も我慢できないそうです。そうした災害の教訓を頭に入れ、これから町内会や団体等でも避難訓練を重ね、災害に対する心構えをみんなで共有し、自助・共助・公助の確立を図りましょう！

一般質問



1 『八雲町も是非「健康経営宣言」を！』

職員が心も身体も健康に過ごし、一人ひとりの力が十分に発揮できる職場環境を作ることトップの大切な仕事です。「健康経営」は、「職員の健康保持・増進の取り組みが、将来的に収益性などを高める投資であるとの考えの下、健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践すること」を言い、自治体においても『健康経営』の視点を取り入れることで、質の高い市民サービスの提供や効率的な行政運営につながることを期待されています。是非、八雲町でも職員皆様の意見をしっかりと聞きながら『健康経営宣言』をすべきではないでしょうか？

私の仕事は動いていることがほとんどなので、座りっぱなしの状況が不健康に感じられ、若い方たちにアンケートに協力していただきました。その中にはやはり同じ姿勢による腰痛や視力低下の声、隙間時間のストレッチの必要性、禁煙外来の推奨、テレワークやフレックスタイムの導入など、働きやすい職場について多くの提言をいただきました。職員不足の上、業務量が増え、厳しい状況だとは思いますが、是非、職員皆さんの声をしっかりと聞き、より働きやすい職場環境を作ってほしいと思いますが、町長のお考えをお伺いします。

答弁 「健康経営宣言に向け取り組む！」

職員一人ひとりが自己の能力を最大限発揮し、効果的・効率的な行政運営を推進するには、職員全員が心身ともに健康であることが重要であり、検診受診を初めとした健康増進に取り組むとともに、ワーク・ライフ・バランスなどの働き方改革の推進や、良好な職場環境の維持が必要だと考えている。健康経営に係る先進的な自治体の取り組みや、健康分野で連携協定を結んでいる保険会社等の事例を学ぶとともに、職員の意見を尊重し、健康経営宣言に向け取り組む。健康経営の最終目標は、職員の健康を維持しながら住民サービスの向上につなげることだが、まずは今の働く職場の改善に取り組む。上司が職員の声を聴く力を養うとともに、自分も初心に帰り、若い職員との話し合いをして行きたい。

私たち町民が困ったときなど、最終的に頼りにするのは役場職員の皆さんです。でも、その職員の皆さんが、日々の仕事で心も身体も疲れ切っていては、頼ることもできなくなります。椅子に座りっぱなしの不健康な状況が、いつも気になっていたのですが、色々調べていると健康経営という考え方に出会い、早速、導入していただくよう提案しました。

私が新人職員の時は「24時間働けますか?」「猛烈社員」などの言葉が象徴するように、仕事命が当たり前の時代で、ワーク・ライフ・バランスという言葉はなかったです。でも今は、仕事だけではなく、仕事以外の時間も充実できる環境やスキルアップできる環境が求められています。そうなるとうちの地方は不利になってしまうのですが、地方ならではの良さを大いに発揮し、できるだけ長く働ける職場を目指してほしいと思います。

でも、仕事に関する時代背景が違いすぎて、60代以上の私たちは、今の若い人の感覚を理解することはとても難しいと思っています。だからこそ、じっくりと話し合い、お互いに少しでも分かり合えるような時間を作ることが重要になってきますね。（ご意見募集中！）



2 『任期12年の総括は?』

町長も町議も残りの任期が1年を切りました。岩村町長におかれては、任期12年トップセールスマンとして全国を飛び回り、特に産業に全力で取り組んできたことは、町民誰もが感じている

ところです。しかし、最近示された厳しい財政試算を見ると、今は大きなプロジェクトに着手するタイミングではないと思いますし、もう本来のあるべき行政の姿に戻すべきではないでしょうか。町長はこれまでの政策推進における総括をどのように判断されているのかお伺いします。

答弁

就任1期目は、八雲町に関係ある企業や大学を訪問するなど、トップセールスとしてがむしゃらに動き、種まきをしてきた。2期目は、蒔いた種が少しずつ芽吹き、日本最大規模となる太陽光発電や北海道初となるトラウトサーモンの養殖等に着手し、研修牧場の整備も進めてきた。しかし、反省すべき点も多く、役場庁舎の建設については、町民に対してもっと丁寧に説明すべきだったと思っている。3期目は残り1年を切ったが、新しい事業に着手するより、今までやってきた事業をまとめていきたいと思っている。

再質問

町長は、総合計画に載せずに事業を進めてしまった結果、ほころびが出てきたと思います。研修牧場において研修生の育成は出来ているのか、木蓮の人材育成はどこまで進んでいるのか、ウイスキー事業では、数社の企業と一緒にすることで利益が見込めない場合、手を引かれて、八雲町だけが背負うという心配はないのか、庁舎のプロポーザルの選定理由に納得ができない等々、もっと町民の声に耳を傾け、協働のまちづくりを实践すべきではないでしょうか？

答弁

やはり総合計画に載せるべきだったと反省。研修牧場は、研修させようにも2～3か月で辞められてしまい、プログラム消化に至っていない。木蓮に関しても、取り組みが甘かったと反省。ウイスキーに関しては契約の中で撤退しないという約束を交わすので問題はない。庁舎に関しては、議会で実施設計の予算を可決し、進めている。環境問題の補助金や過疎債等の事を考えると、このまま進めたいが、ごり押しはできないので意見を聞きながら進める。私が町長に就任した時には、貯金が10億円、借金が156億円あった。R5年度の決算では、貯金が145億円、借金が127億円となっている。今後も関係者と情報共有をしながら取り組んで行く。

民間出身の町長という事で、八雲町の『ブランド化』に向け、精力的に全国を回り、色々な事業を手掛け、そのスピード感と積極性は他町の方たちからうらやましがられるほどです。給食費無償化、高校生まで医療費無償化、保育料の軽減等子育て対策、街路灯のLED化と補助にも力を入れ、町民にとって目に見える施策が多くあります。一方、今までの行政は補助金で対応してきたのに対し、出資という形で『研修牧場』『木蓮』『サーモン養殖』『水力発電』『ウイスキー事業』等会社を設立。町長が言う通り、数年後にはすべての事業が軌道に乗り、八雲町にとって利益を生み出すのかもしれませんが、今の状況では、会社ができてそれを担って立つ人材が育っておらず、将来がとても不安です。借金が減り、貯金は倍以上に増えましたが、海産物が壊滅状態、各産業の後継者不足、人口減少による人手不足等の様々な弊害を考えると、決して財政的にも安心できる状況ではないことも報告されています。これらの事業を認めてしまった議会には大きな責任があります。将来、負の遺産として残ることがないように、これからしっかりとチェックし、より良い方向を目指して取り組まなければならないと、痛感しています。

議会初？！

今回、一般質問をした議員は8人でした！今までの最高だという事です。10月に東北に視察に行ったのですが、その成果もあり3人が防災に関する質問をしました。「議会の活動が見えない！」という声が多いのですが、議会広報やホームページ、YouTubeで議会の様子を見ることができますので、是非のぞいて見て下さい！

＜補正予算の主な項目＞

- ◎ 漁業振興設備等整備事業補助金 660 万円（漁船浄化施設へ半額補助、ホタテ貝等補助）
- ◎ アイヌ農林漁業対策事業補助金 4,064 万 3 千円（全自動ホタテ耳吊り機械 12 台分）
- ◎ 投資及び出資金 2,400 万円（ウイスキー蒸留所〈仮称〉設立法人出資金）

＜文厚委員会より＞

◎ 社会教育課：土地購入予定！

町指定文化財となっている『梅村庭園』の駐車場は障がい者用スペース 1 台分のみなので、利用者の利便性の向上と、今後の公民館敷地も合わせた有効な利活用につなげるため、梅村庭園と公民館の間に所在する土地を購入予定。面積 308.28 m²で購入費用（見込み）400 万円。現在、住宅が建っているので、所有者が住宅を解体後、R7 年秋ごろまでには購入予定。

◎ 社会教育課：図書館に家庭用エアコン（7 台）が設置される予定！

設置場所：閲覧室 3 台、受付カウンター 1 台、玄関ロビー 1 台、事務室 1 台、2 階集会室 1 台。電気設備改修のための設計費：約 300 万円、R8 年度に設置工事予定。



二海サーモンプロジェクト及び土地収用法の適用に関する調査特別委員会が終了！

調査特別委員会委員長として報告書を提出し、無事任務を終了しました。調査の結果、バックアップ施設として予定している土地・建物の購入金額の根拠や購入方法に大きな疑問があり、調査の結果、土地収用法の適用を申請せず、減額補正することが全会一致で可決。

サーモン養殖事業は、ふ化・種苗生産、海面養殖、加工販売と 3 部門に分かれ、それぞれが独自体制で活動する予定。（すでに海面養殖は活動開始！）種苗生産施設の増築事業については約 9 億円が予定されているため、熊石地域の産業としてしっかりと根付くよう、特別委員会終了後も事業の進捗状況を随時総務委員会に報告を求めました。この事業の進め方は、いつも後出しとなっていることが多く、疑問や不安が多くありましたが、この事業費がしっかりと活かされるよう見守ります。

議会カフェ開催します！

1 月 12 日（日）13 時より、シルバープラザで、「二十歳の集い」会場の片隅をお借りして議会カフェを行います。二十歳の方はもちろん、多くの町民の皆さまにお越しいただけると嬉しいです。晴れ着姿を見ながら、これからの八雲町について語り合いましょう！

11 月・12 月は研修会等で、学びの多い月でした。災害対策を始め、ケアラー、脳科学、食育、一般質問について等々。一人で学ぶとなかなか進みませんが、一緒に学ぶ仲間がいると難しいことも楽しく感じるのが不思議ですね。一般質問をした後も一緒に反省会をし、次の質問に向け、みんなでレベルアップを目指します！定例会も残り 3 回しかないので、より良い議会を目指し全力で取り組みます！

10 月は町長・町議会議員選挙。立候補者大募集ですから、積極的に手を挙げて下さいね！

赤井むつみ後援会連絡先 八雲町住初町 126

FAX=62-3632 電話=080-5588-2090（赤井）

赤井自宅 栄町 56-12（栄町 3 区） ☎ 63-2090

ホームページは「赤井むつみ」で検索してください！

